

2019年2月7日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校
校長 古田 昇

2018年度学校教育診断保護者アンケートの結果について

向春の候、保護者のみなさまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。先般実施いたしました「学校診断保護者アンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。その結果がまとまりましたのでご報告申し上げます。

この結果をふまえて、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

1. 調査概要

- 調査目的：本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。
- 実施日：2018年12月
- 対象：全校生の保護者
- 回収：96.1%（746名/776名）

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまり当てはまらない」「D=全く当てはまらない」の回答について、「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、80%以上を「多い」、60%以下を「少ない」と表現しています。

(1) 肯定的な回答が多かった項目（37項目中15項目）

- ・学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。 (80.4%) (昨年 83.1%)
- ・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。 (87.5%) (昨年 88.4%)
- ・学校の教育環境は、施設・設備の面で満足できるものである。 (91.6%) (昨年 93.4%)
- ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。 (83.0%) (昨年 80.1%)
- ・学校は生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる。 (84.6%) (昨年 82.8%)
- ・子どもを本校に入学させて良かったと思う。 (85.0%) (昨年 86.1%)
- ・先生は子どものまちがった行動に対して厳しく指導してくれている。 (80.4%) (昨年 79.7%)
- ・学校の生活指導の方針(服装・頭髪・遅刻等の指導)に共感できる。 (80.4%) (昨年 83.3%)
- ・「女性学～女性の学び～」の授業は意義がある。 (85.8%) (昨年 83.4%)
- ・学校行事の内容は充実していて、子どもは積極的に参加している。 (85.0%) (昨年 81.2%)
- ・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。 (89.7%) (昨年 88.2%)
- ・学校は、地震や台風など非常時の対応に、子ども・家庭に適切に伝えている。 (94.2%) (昨年 91.2%)
- ・家庭では、子どもと学校のことよく話をする。 (80.7%) (昨年 82.2%)
- ・家庭で、スマートフォンやタブレットなどの取扱いについてきちんと話し合っている。 (81.9%) (昨年 81.9%)
- ・子どもは、情報モラルについて理解し、スマートフォンやタブレットなどを正しく利用している。 (84.7%) (昨年 84.6%)

(2) 肯定的な回答が少なかった項目（37項目中3項目）

- ・子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている。 (58.7%) (昨年 58.4%)
- ・育友会活動に参加しやすい。 (40.9%) (昨年 41.4%)
- ・学校のHPをよく利用している。 (35.9%) (昨年 34.6%)

3. まとめと今後に向けて

肯定的回答が多かった項目は37項目中15項目(2017年度15項目・2016年度9項目・2015年度7項目)あります。一方、肯定的な回答が少なかった項目が3項目(2017年度3項目・2016年度4項目・2015年度8項目)あります。また、肯定的な回答が60%を超えているものの、わたしたち教職員が認識しなければならない課題もあります。

(1) 学習面の課題克服に向けて

「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的回答が58.7%(昨年比+0.3)、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」の肯定的回答が62.9%(昨年比-1.7)、また、同時に実施した生徒アンケートでは、「授業はわかりやすい」の肯定的回答が61.8%(昨年比+1.8)「宿題・予習・復習にしっかり取り組んでいる」の肯定的回答が60.4%(昨年比+8.5)となっています。これらの項目は、まだまだ満足度を高めていかなければならない重要項目です。

今年度も、1学期末には全教員の授業アンケートを実施し、課題を明らかにして2学期に研究授業に取り組みました。「生徒が自らの目標を持ち」「課題を見つけて」「自主的に計画的に学習に取り組む」ことができるように、さらに、授業改善に取り組まなければならないと決意しています。

(2) 学校生活の取り組みでは

「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」が79.5%(昨年比-1.8)ですが、一方、生徒アンケートでは、「学校に来るのが楽しい」の肯定的回答が71.5%(昨年比-4.2)となっています。また、「学校の生活指導の方針に共感できる」は、肯定的回答が80.4%(昨年比-2.9)ありましたが、生徒アンケートの、「学校生活について先生の指導は納得できる」の肯定的回答が61.4%(昨年比+7.1)と「低い」数値となっています。学校生活は、教職員と生徒、または生徒同士の信頼関係で成り立っています。よりよい人間関係で構成された集団づくりのために、教職員が生徒に向き合い、生徒の声や想いを受けとめ、取り組まなければなりません。

また、自由記述の意見欄では、学校に対する感謝や信頼のご意見も多くいただき、教職員の大きな励みとなりました。一方、厳しいご意見、緊急に解決すべき課題も寄せられました。こうしたご意見を全教職員が真摯に受け止め、今後の教育活動に取り組む決意を「教職員5つの姿勢」として改めて確認いたしました。保護者のみなさまのご期待にお応えできるよう全教職員で不断の努力をしてまいります。今後とも、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

【教職員5つの姿勢】

- ①生徒のどんな小さな声も聞き逃さない
- ②生徒に寄り添い生徒のおもいに応える
- ③保護者との連絡を密にする
- ④教育はチームワークで行う
- ⑤質問にはできるだけ早く返答する